



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2018 3 月号  
Vol.85  
毎月1回発行(通巻85号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 http://www.JMMPA.jp/

## 2018年「新春講演会」&「新春の集い」を盛大に開催

# 医学の進歩は何をもたらすのか 医師の國頭英夫氏が講演!



[右] 講演会の冒頭で挨拶を述べる吉原健二代表理事  
[左] 医学の進歩と限られた資源の使い途について話す國頭英夫氏

### 【第一部：新春講演会】

吉原健二代表理事が登場  
会員の活躍に期待を寄せる

冒頭あいさつに立った吉原健二代表理事は、「医療経営士3級」資格認定試験

一般社団法人日本医療経営実践協会は1月27日(土)、富士ソフトアキバプラザ(東京都千代田区)にて2018年「新春講演会」&「新春の集い」を開催した。第一部の新春講演会では、日本赤十字社医療センター化学療法科部長を務める國頭英夫氏が、「医学の進歩は何をもたらすのか——今こそ求められる医療マネジメントの重要性」をテーマに登壇。第二部の新春の集いでは、全国各地から集結した医療経営士と協会関係者が交流を深めた。



会場には多くの医療経営士が詰めかけた

の累計合格者数が1万2000人、正会員数が7000人を突破したことに言及。目標として掲げる正会員数1万人も目前であるとし、医療経営士の活躍にますますの期待を寄せた。

続いて、「里見清一」名義で多数の著書を執筆しているほか、テレビドラマ『白い巨塔』のアドバイザリーを務めたことでも知られている國頭氏による新春講演会が行われた。

**資源を賢明に使うことが医療の明日を左右する**

國頭氏は、価格が上昇し続けている抗がん剤について、「転移がある大腸がんの患者さんの予後は私が研修医の頃は1年だったが、今は2年半から3年に近づきつつある。それは良い薬がどんどん出てきているからだが、かかるコストは

340倍になった。医学的には「進歩」であるが、これでやっていけるのか」と問いかけた。

さらに、日米間の医療に関するコスト意識や保険制度の違いを紹介しながら、「日本ではこれまでどの治療にどれくらいまでお金を払うのか、検証されてこなかった。1つの新薬の開発には3000億円かかると言われており、今後もある疾患だけでなく、ありふれた疾患に対する高価な薬が生まれてくる。結果として、財政をひっ迫させる」と危機感を述べた。

最後に國頭氏は、がんを含め医療の明日は、限られた資源をいかにして賢明に使うかにかかっていると主張。スペインの画家フランシスコ・デ・ゴヤの絵画作品『我が子を食らうサトゥルヌス』になぞらえ、「医療費が財政をひっ迫させて

### 『最新医療経営フェイス・スリー』創刊400号特別フォーラム

3/10(土)  
開催!!

# 東北医療の明日を考える

激変期を迎えた医療界では、地域の実情に見合った医療体制の構築が重視され、個々の医療機関も新たな事業運営が求められています。当フォーラムでは、行政担当や先進的な取り組みを進める病院の経営者の方にご登壇いただき、地域医療の現状と政策の方向性、医療機関が担うべき役割など、これからの東北医療について考察します。

#### 開催概要

- ▶開催日: 3月10日(土)10:00~16:30(開場9:30)
- ▶会場: TKPガーデンシティ仙台13階(13A) [宮城県仙台市青葉区中央1-3-1]
- ▶参加費: ①会員・定期購読者5,000円(税込)  
②一般8,000円(税込)  
③『最新医療経営フェイス・スリー』定期購読パック17,000円(税込)  
※会員とは医療経営士、介護福祉経営士、栄養経営士。定期購読者とは『最新医療経営フェイス・スリー』『クリニックばんぶう』『月刊医療経営士』の定期購読者
- ▶主催: 日本医療企画 ▶後援: 日本医療経営実践協会 ほか

#### プログラム

- 第1部 基調講演「地域医療政策の展望」**  
佐藤敏信氏(久留米大学特命教授[医療政策担当]、元厚生労働省健康局長、元保険局医療課長、医系技官)
- 第2部 特別講演「診療・介護報酬改定の展望」3月上旬の告示・通知を踏まえた最新情報!!**  
湯原淳平氏(株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン マネージャー、社会福祉法人こうほうえん経営支援室長)
- 第3部 シンポジウム「地域医療を担う病院の今後の戦略と連携」**  
佐藤俊男氏(地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構理事) 加藤章信氏(盛岡市立病院院長)  
島田 薫氏(医療法人双山会森岳温泉病院理事長・院長) 新藤 哲氏(医療法人ならの杜理事長)



いるにもかかわらず、何の議論もせずに今の状況を続けることは、子どもたちの世代にツケをまわし、被害者になっている。医療で皆を救うと言うが、将来の患者さんを見捨てている。私た

ちが今していることは、我が子を食らうサトゥルヌスと同じではないか。私たちがこのような姿にならずに済むかどうかは、私たち自身にかかっている」と締めくくった。

「新春の集い」開会前に行った記念撮影

【第2部：新春の集い】  
4人の医療経営士がそれぞれの抱負を語る

続く新春の集いでは、小林利彦代表理事代行による主催者挨拶のあと、第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会で審査委員長を務めた県立広島大学大学院経営管理研究科MBA客員教授の吉長成恭氏が登壇。医療経営士の活躍と、より密な交流・連携を祈念して乾杯の発声を行った。その後、医療経営士を代



小林利彦代表理事代行 吉長成恭氏 沖中尊氏 木下克久氏



松岡浩正氏 大西達夫氏 須田清氏

表してNTT東日本関東病院情報システム担当の沖中尊氏、中外製薬株式会社東京第一支店の木下克久氏、ニプロ株式会社国内事業部長の松岡浩正氏、MLIP（エムリップ）経営法律事務所所長で弁護士・弁理士の大西達夫氏が挨拶した。昨年発足した東京研究会に事務局として加わっている沖中氏は、「今年は医療経営士による研究会同士の連携を図ったり、遠方で研究会に参加することが難しい医療経営士の支援にも取り組んでいきたい」と抱負を述べた。木下氏はMRの立場から、「自社製品の営業だけでなく、急性期から

慢性期までさまざまな機能の病院の医療従事者の皆様に提案ができるようになっていきたい」と意気込みを語った。松岡氏は、「医療経営士の資格を取得して終わりではなく、継続して学習し、それを仕事のなかで活かしていくことが大事。今後は研究会や全国大会にも参加していきたい」と述べた。昨年の試験で医療経営士1級に認定された大西氏は、「医療者が目の前の患者さんに向き合いながら国の医療政策も考えていく視点が必要だが、それには限界がある。医療者の伴走者として、医療の将来像はどうあるべきかを考えていくことが医療経営士の役割」と訴えた。



「新春の集い」では、医療経営士と協会関係者が交流を深めた

**本協会主催** 医療経営士が知っておきたい「医学の基礎知識」をDVDとテキストで平易かつ効果的に習得可能!!

協会HPにて申込み受付中!!

# 「医療経営士」基礎力UP講座が開講!

医療事務職を中心とした医療経営士を対象に、医療専門職との連携で必須となる医学の“基礎知識”や“重要なキーワード”を分かりやすく解説!

特徴1 テキストは東京女子医科大学附属成人医学センター所長の上塚芳郎氏著、DVDはテキストのエッセンスを中心に重要ポイントを上塚氏が詳しく解説。

特徴2 DVDとテキストを自学自習し、レポートを協会へ提出。審査通過者に修了証を発行!

※本講座では、DVDとテキストの分売は行いません。単体でご希望の場合、テキストのみ日本医療企画からご購入が可能です。

[監修] 上塚芳郎 (東京女子医科大学附属成人医学センター所長)

[セット内容] テキスト(B5判・並製・全96ページ)、DVD(88分)、レポート用紙/修了証(審査通過者のみ発行)

[価格] 10,800円(本体価格10,000円)

受講の流れ

- 1 本協会ホームページより申込
- 2 入金確認後、協会よりDVD+テキスト+レポート用紙を送付
- 3 DVDとテキストで学習後、レポートを協会へ提出
- 4 協会にてレポートを審査。審査通過者に修了証を発行

※詳細は協会HPにてご確認ください

[お問い合わせ・お申し込み] 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-5296-1933 <http://www.JMMPA.co.jp/>



尾形裕也

(おがた・ひろや)

「指定課題研究助成」事業・選考委員会委員長  
九州大学名誉教授。東京大学工学部・経済学部卒業。1978年厚生省入省。同省各局、OECD事務局、在ジュネーブ日本政府代表部、国立社会保障・人口問題研究所研究部長等を経て、2001年より九州大学大学院医学研究院教授、13年より17年まで東京大学政策ビジョン研究センター特任教授を歴任。

## 医師・看護師等の働き方改革に関する「指定課題研究助成」事業、公募スタート!

# 選考委員会委員長に聞く、いま医療機関においてどんな「働き方改革」が求められるのか!?

### 医療経営士による現場発・現場主導の研究に期待!!

医療機関の命運を握るモノから人への投資へ

最近、社会的知名度が高い病院において残業代の未払いを報じる記事を目にする事が多くなっています。過剰残業による過労死などブラック企業を筆頭に企業の労働環境に対し社会的関心や批判が急速に高まる中、医療機関にも同様な眼が向けられつつあります。もちろん、過剰残業や残業代の未払いはまったくの論外であり、医療機関だからといって世間の常識と懸け離れていていいわけではないことは明らかです。つねづね医療は労働集約性が高いサービスと言われてきました。医療機関の経営や組織の運営は、いかに優秀な人材を確保し、その能力を十二分に発揮してもらうかにかかっています。医療機関は、もっぱら機器や病床といったモノに対する資本投下を行い、人への投資をあまり行ってこなかったのが実情です。

以前、看護界を中心に、

患者から支持され、看護師の離職も少ない、まるで磁石のように優秀な人材を引き付ける病院のことを「マグネットホスピタル」と称し話題になったことがありましたが、医師や看護師といった医療職に選ばれないような病院にはそもそも患者も来ないと言えます。

労務管理に止まらない  
専門有資格者の活かし方

しかし、働き方改革と言えば、まるで判を捺したかのように「人事・労務管理」の話になってしまっているのではない。たしかに労務管理も重要ですが、そこに止まることなく、医療機関がもつ独自の強みや特性を活かした形で、「現場発」の、医療機関ならではの働き方改革への提言を期待したいと思います。

医療機関は一般企業に比べ、多種多様な専門有資格者によって構成されているのが特徴です。したがって、病院勤務者全員に当てはまるような働き方改革では意味がありません。医師や看護師をはじめとする各専門有資格者それぞれに有効な働き方を模索する職種の分析や、高度急性期・急性期・回復期・慢性期といった機能分化された病棟ごとのきめ細かい対応が必

要となってきます。

現場の実態に基づいた  
エビデンスから導く改革

また、専門職がわざわざ行う必要がない「雑務・雑用」の整理や委譲、すなわち業務改革による合理化も求められます。

たとえば、医師が本来の業務に専念できるよう、事務職員が医師の指示に従って事務業務を補助する役割を担っているのが医師事務作業補助者です。診療報酬上で加算評価の対象となっており、加算が認められているから導入するというのではなく、現場の実態に即し業務の合理化・効率化といった観点から導入するというのが本来のあり方です。何よりいちばん問題意識をもっていているのが現場であり、現場感覚のある医療経営士が実態に見合った実績や客観的裏づけとなるエビデンスを引き出し、現場からの提言や現場主導で診療報酬改定での加算や制度改革、環境改善に結び付けていくことが重要です。

強みであるデータを駆使し  
健康を指標にアプローチ

ここで、働き方改革の1つのヒントとなるのが、昨今注目を集めている「健康経営」です。従業員の健康

問題を経営的視点で捉え、戦略的に実践するという考えです。従業員の健康管理・健康づくりの推進は、単に医療費という経費の削減のみならず、労働生産性の向上、創造性の活性化、企業の業績およびイメージアップといった効果が得られ、企業におけるリスクマネジメントとしても有用であると認識されています。

健康経営に積極的に取り組む優良企業に対する社会的評価として、「健康経営銘柄」や「健康経営優良法人」があります。一般企業にまじり特定医療法人財団博愛会(福岡県福岡市)および医療法人社団同友会(東京都文京区)の2つの医療法人が「健康経営優良法人」に選定されました。「健康経営」といった考え方が医療機関にも広がっている証左と言えます。

医療機関と云えば、データヘルスの基盤となるレセプトや特定健康診査・特定保健指導のデータを有して活用することは、いわば医療機関として得意分野、「土地勘」のある領域です。医療機関特有の強みであるデータを駆使し、健康を指標として働き方改革へのアプローチを行うのも1つの方法です。

## 「医療経営に関する研究助成」案件募集

# 求む、医療経営士の挑戦者!

3月31日、公募締め切り迫る!!

助成総額1,000万円  
本協会「指定課題研究助成」  
事業スタート!

第1回(2018年度)指定課題

医師・看護師等の働き方改革

◎詳細は本協会ホームページ(<http://www.jmmpa.jp/grant>)をご覧ください。

事務局 掲 示 板

～日本医療経営実践協会からのお知らせ～

第23回「医療経営士3級」資格認定試験  
4,239人がエントリー

3月18日(日)に実施する第23回「医療経営士3級」資格認定試験の受験エントリー期間が終了し、4,239人の方がエントリーしました。

同試験は、全国12都市の会場で実施され、4月16日(月)に合格者が発表されます。

なお、受験者の年齢・性別・所属先、合格率など試験結果の詳細については、本紙5月号でレポートする予定です。ぜひ楽しみに！

本紙『MMS NEWS』を活用して  
医療経営士の認知度アップにご協力ください

会員サービスの一環として毎月発行している『MMS NEWS』を活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力いただける会員の方を募集しています。職場やお取引先へ『MMS NEWS』をお配りいただくことで、ご自身の活動のアピール資料としてもご活用いただけます。

配布用の『MMS NEWS』をご希望の方は、下記アドレスへ「MMS NEWS希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、必要部数(ご調整させていただく場合がございます)をご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしております。

お申し込み ▶ E-mail : info@jmmpa.jp

支部活動に参加してレベルアップを図ろう！

PICK UP 研究会

3/7 関東支部

第1回若手金融マンのための勉強会  
「超高齢社会の先行きと医療・介護経営」

株式会社日本医療企画(後援:関東支部)は、第1回若手金融マンのための勉強会を開催する。講師は元銀行員で、湖山医療福祉グループ代表を務める湖山泰成氏。参加資格を「医療経営士3級」資格認定試験に合格している40歳未満の金融機関勤務者に限定し、密度の濃い内容を目指す。

地域経済の一翼を担う病院・介護施設のために地元の金融機関はどのような貢献ができるのか。湖山氏が豊富な経験から導き出した理念・哲学やスキルについて具体例を示しながら紹介する。

- 日時 3月7日(水)18:30~20:30
- 会場 スタジオ・7412ホール(東京都中央区)
- 参加費(税込) 無料
- お問い合わせ先 株式会社日本医療企画関東支部 TEL:03-3256-2885 (担当:田所)

3/24 東海支部

第12回静岡県東部医療経営研究会  
「診療報酬改定まつり」

静岡県東部医療経営研究会は、「診療報酬改定まつり」と題し、12回目の研究会を開催する。

研究会では、冒頭、岡村記念病院医事課課長の川端真一氏が改定の概要について解説。その後、同院の医事課職員を中心とした6人の講師がそれぞれ登壇し、「外来」「入院」「DPC」「連携室」「施設基準」など、テーマごとのポイントを詳述する。終了後は近隣の居酒屋で交流会(会費4,000円)を開催予定。

- 日時 3月24日(土)14:00~16:00
- 会場 岡村記念病院4階カンファレンス室(静岡県駿東郡)
- 参加費(税込) 無料
- お問い合わせ先 岡村記念病院 TEL:055-973-3221 (担当:田中)

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
3月7日(水)	関東	第1回若手金融マンのための勉強会 「超高齢社会の先行きと医療・介護経営」	湖山泰成氏(湖山医療福祉グループ代表)
3月10日(土)	関西	経営人材としての総合力を高める「石井ゼミ」 第2回(全4回)	石井富美氏(超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
3月11日(日)	九州	医療経営研究会特別研究会 in 沖縄 「2018年度診療・介護報酬同時改定」について	橋爪 章氏(日本医療経営実践協会九州支部支部長)
3月17日(土)	九州	医師を知り、交渉力・提案力をUP 現場力を磨く「Dr園田ゼミ」 第4回(全4回)	園田幸生氏(医学博士、医療経営士1級)
3月23日(金)	北海道	“惑星直列”観察ツアー 第6回(全6回)	神内秀之介氏(NB lab代表)
3月24日(土)	東海	第12回静岡県東部医療経営研究会 「診療報酬改定まつり」	川端真一氏(岡村記念病院医事課課長) / 芦川朋史氏(岡村記念病院医事課外来) ほか

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

医療経営士の参加も大歓迎! 協力団体セミナーのご案内

第3回「全国栄養経営士のつどい」in 札幌

栄養経営で地域をつなぐ ~栄養経営士に求められる新たな役割~

職場やお知り合いの  
管理栄養士にご紹介ください!!

2018年 3月24日

- ▶日 時:2018年3月24日 10:30~16:40(懇親会17:00~18:50)
- ▶会 場:ACU-A 16F大研修室1614 [札幌市中央区北4条西5 アスティ45 16F]
- ▶参加料:正会員5,000円 一般7,000円
- ※税込、事前登録の場合
- ※懇親会別途5,000円

主なプログラム ※敬称略、プログラムは変更になる場合がございます

- 講演① 2018年度診療報酬改定が示す方向性と管理栄養士に求められる役割  
塩澤 信良(厚生労働省保険局医療課)
- 講演② 地域包括ケアシステム構築のために求められる在宅栄養管理と栄養経営士の責務  
児玉 佳之(医療法人社団佳生会理事長/日本栄養経営実践協会北海道支部支部長)
- 講演③ 地域包括ケアをめざして~多職種連携の実際と栄養経営士への期待~  
秋山 正子(NPO法人マギーズ東京共同代表理事・マギーズ東京センター長)

- 栄養経営士による実践報告とパネルディスカッション 座長 山下 茂子(一般社団法人日本栄養経営実践協会理事)
- 協合理事特別パネルディスカッション「栄養経営士がつなぐ地域の未来とは」 座長 宮澤 靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事)